

一般飲食店における崩壊・倒壊災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	13~14	弁当を盛り付けするための折りたたみ式テーブル（900mm×1800mm、重さ約20kg）を運搬し、壁際に横向きに立てかけて並べていたが、そのテーブルのバランスが崩れかかったのでそれを支えようとしたところ、左足に負担がかかり骨折した。	37	30～49
6	19～20	店舗バックヤードキッチン出入り口にて、控室に戻ろうとした際、出入り口の扉を開けたところ、コーラの炭酸ボンベが倒れて足に当たってしまい、右下腿挫滅創を負った。	22	30～49
9	9～10	店でテラスの壁を取り壊そうとして勢いを付け倒そうとして、壁が勢いよく倒れてしまい、そのまま小指と薬指が壁に押しつぶされて、怪我をした。	19	10～29
9	21～22	店内パントリーにて生ビールを新しい樽に交換するため空になった樽を寄せた時に、生ビールホースと炭酸ガスホースが引っかかり炭酸ガスボンベが倒れてきて、右足甲に直撃した。すぐに冷やす等処置を行うも腫れあがってきてしまった。	55	10～29
9	11～12	店舗事務所横の倉庫にて、店舗で使用する資材の搬入作業中、立て掛けておいた脚立が不意に前方から倒れてきて、胸部を強打し、首と左肋骨を受傷した。	20	30～49
10	11～12	被災者は、店内のレジカウンター内にてレジ下右側に立てかけておいた紙用の裁断機が倒れてきて右足首を強打し負傷する。	48	10～29

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)